

第15期まちづくり大学

ごみ減量対策の解説とグループワーク

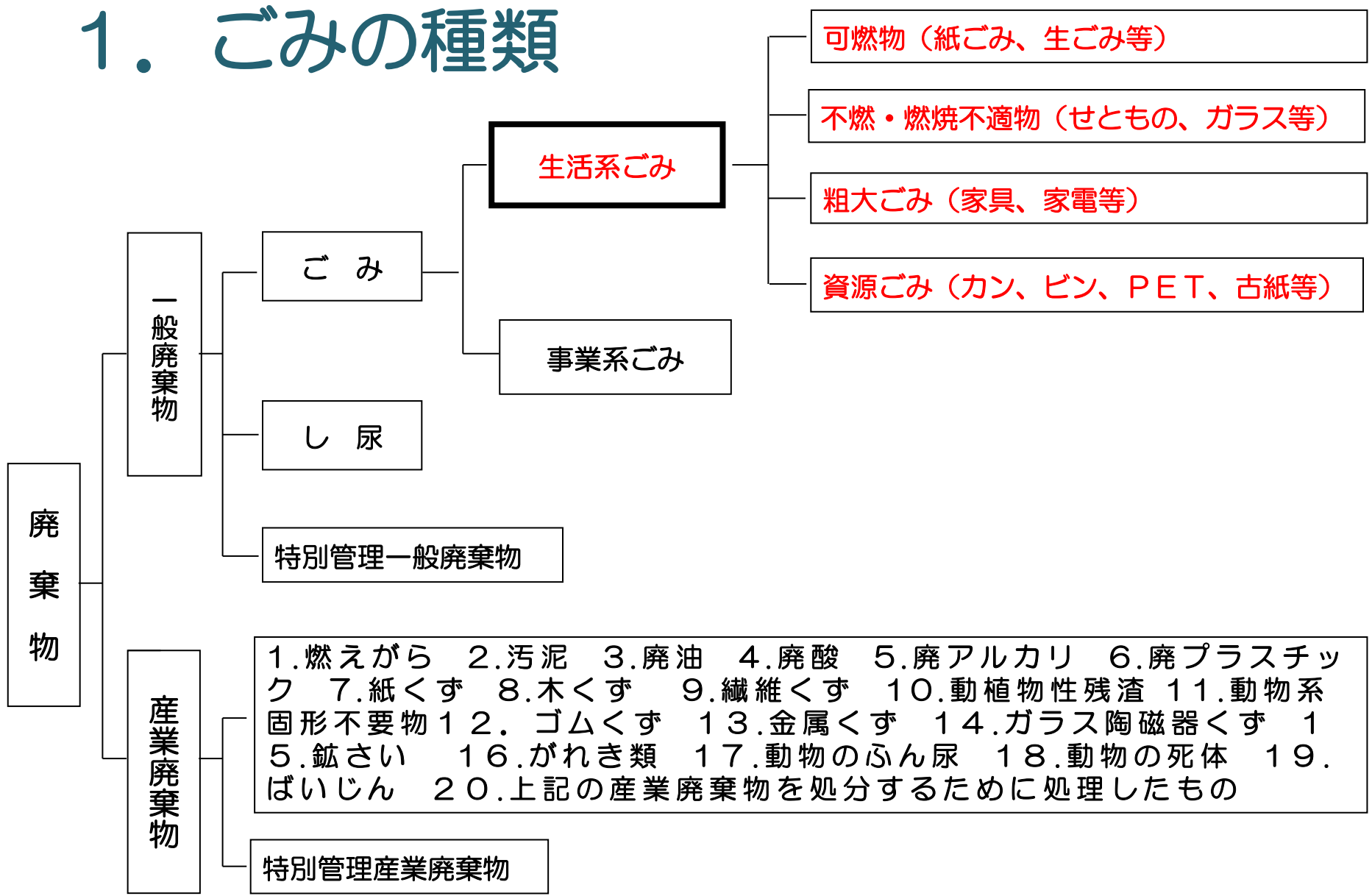
市民生活部生活環境グループ

令和元年11月2日（土）

# 大阪狭山市のごみ事情について

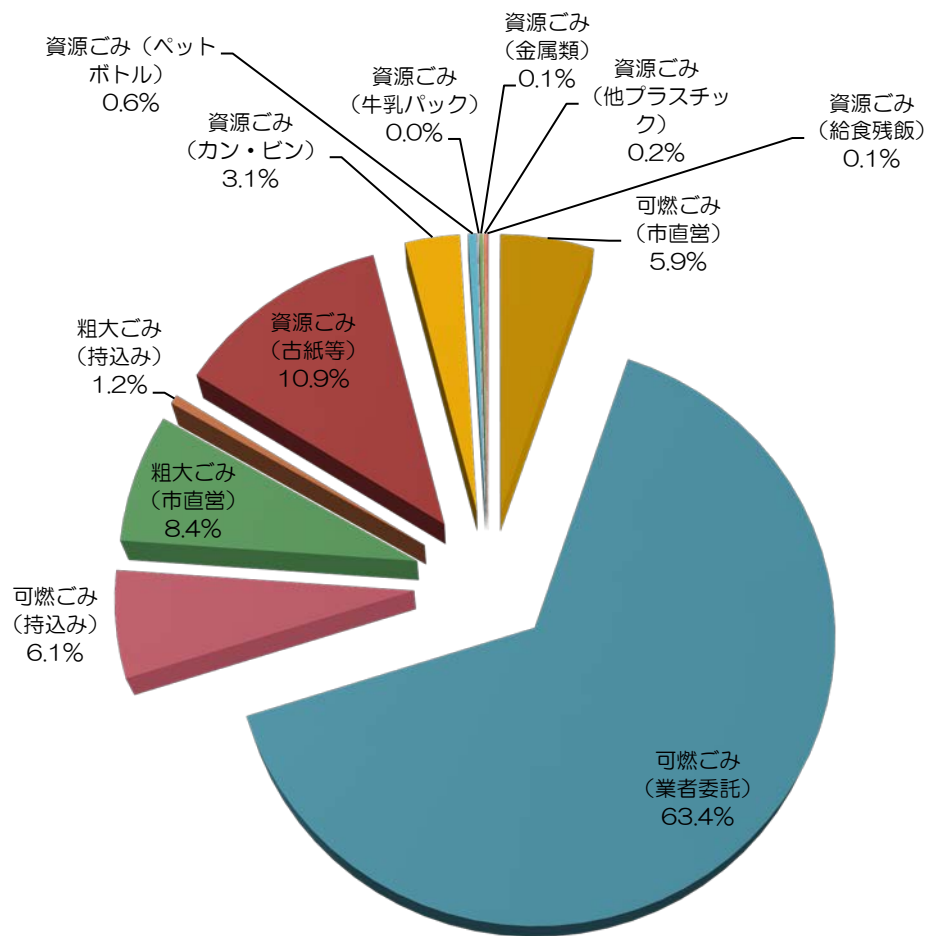


# 1. ごみの種類



## 2-2. ごみの内訳

区分	収集量(トン)	構成比
可燃	市直営	1,108 5.9%
	業者委託	11,895 63.4%
	持込み	1,153 6.1%
	小計	14,156 75.4%
粗大	市直営	1,584 8.4%
	持込み	221 1.2%
	小計	1,805 9.6%
計	15,961 85.0%	
資源	古紙等	2,040 10.9%
	カン・ビン	584 3.1%
	ペットボトル	114 0.6%
	牛乳パック	3 0.0%
	金属類	16 0.1%
	その他プラ	31 0.2%
	給食残飯	16 0.1%
	計	2,804 15.0%
	合計	18,765 100.0%
平成30年度収集量	単位：t・%	



# 3-1. ごみの排出量

## (1)ごみの排出量の推移

単位：トン

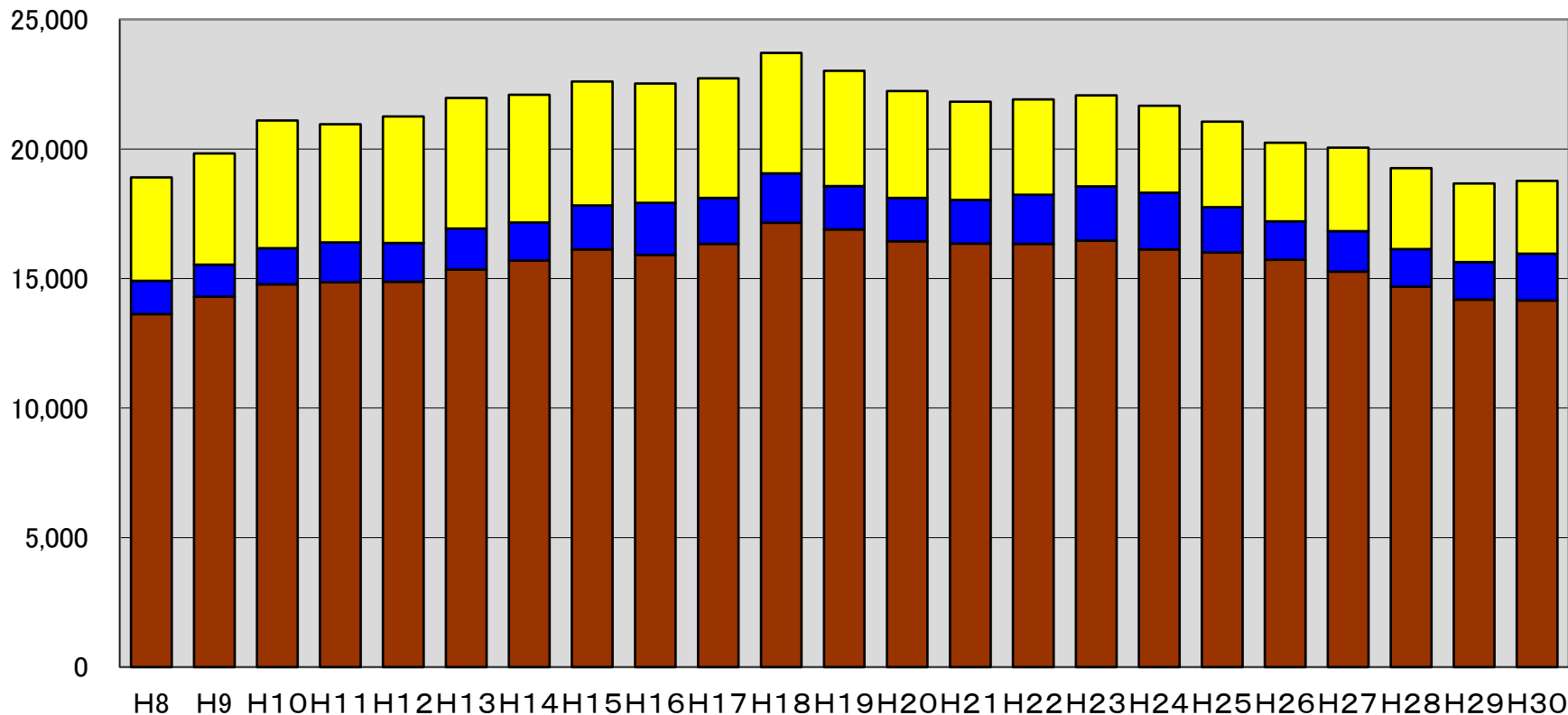
区分	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
可燃ごみ	13,628	14,295	14,776	14,849	14,872	15,345	15,691	16,122	15,918	16,335	17,153	16,894
粗大ごみ	1,280	1,237	1,398	1,543	1,499	1,583	1,474	1,696	2,008	1,772	1,902	1,674
資源ごみ	3,994	4,291	4,928	4,565	4,889	5,043	4,924	4,785	4,597	4,622	4,651	4,447
計	18,901	19,824	21,102	20,957	21,260	21,972	22,090	22,602	22,523	22,728	23,707	23,015
前年比	▲5.6%	4.9%	6.5%	▲0.7%	1.4%	3.3%	0.5%	2.3%	▲0.4%	0.9%	4.3%	▲2.9%
区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
可燃ごみ	16,440	16,351	16,336	16,461	16,130	16,005	15,725	15,270	14,691	14,186	14,156	
粗大ごみ	1,666	1,682	1,894	2,096	2,180	1,746	1,481	1,555	1,446	1,451	1,805	
資源ごみ	4,125	3,792	3,688	3,516	3,357	3,300	3,032	3,230	3,119	3,029	2,804	
計	22,231	21,825	21,918	22,073	21,667	21,051	20,238	20,055	19,256	18,667	18,765	
前年比	▲3.4%	▲1.8%	0.4%	0.7%	▲1.8%	▲2.8%	▲3.9%	▲0.9%	▲4.0%	▲3.1%	0.5%	

## 3-2. ごみの排出量

単位:トン

### ごみの排出量の推移

■資源ごみ ■粗大ごみ ■可燃ごみ



本市のごみ排出量は、平成18年度にピークを迎え、近年は微減、微増を繰り返していましたが、平成24年度からは安定して減少しています。

# Q. 大阪狭山市の一人当たりの ごみの排出量は何番目に多い？

南河内環境事業組合構成市町村(6市町村)

大阪狭山市  
河南町

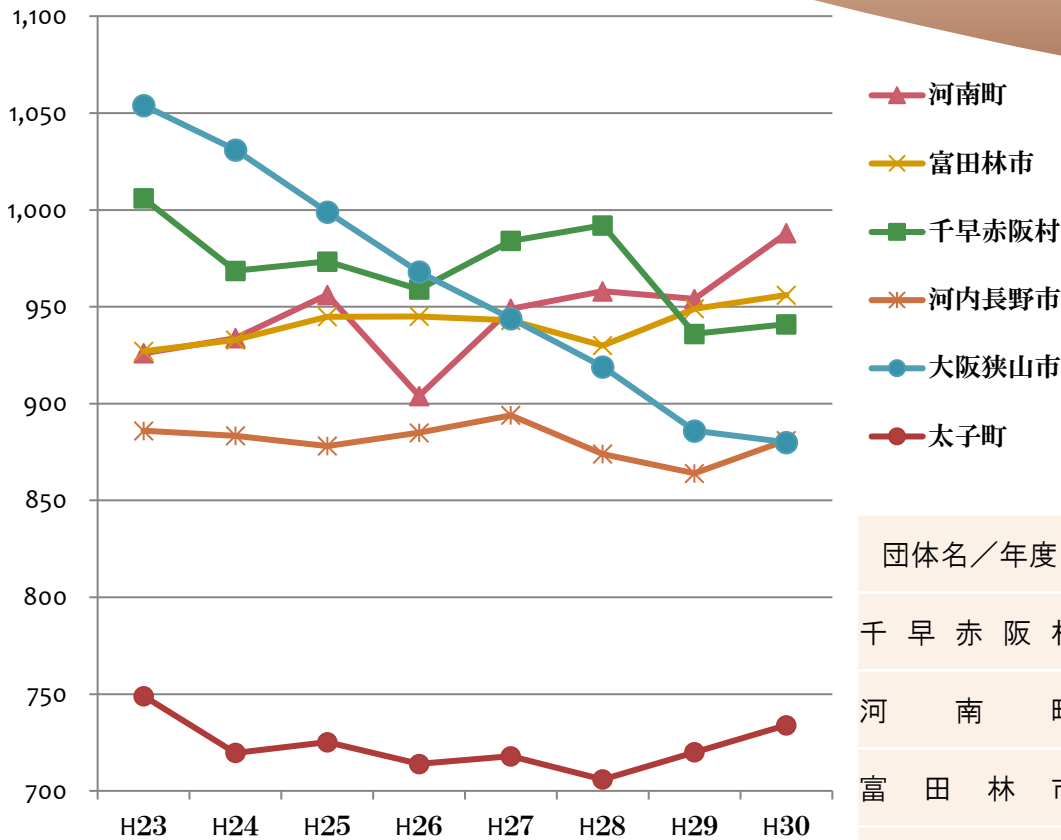
河内長野市  
千早赤坂村

富田林市  
太子町

Q1. H23年度は？

Q2.H30年度は？

# 3-3. 南河内地域における1人1日あたりのごみ排出量



A1. H23年度 6市町村中1番目

A2. H30年度 6市町村中5番目

単位:g (1人1日当たり)

団体名/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
千早赤阪村	1,006	969	973	959	984	992	936	941
河南町	926	934	956	904	949	958	954	988
富田林市	927	933	945	945	943	930	949	956
大阪狭山市	1,054	1,034	999	968	944	919	886	880
河内長野市	886	883	878	885	894	874	864	881
太子町	749	720	725	714	718	706	720	734
地域平均	929	925	923	917	918	901	898	908



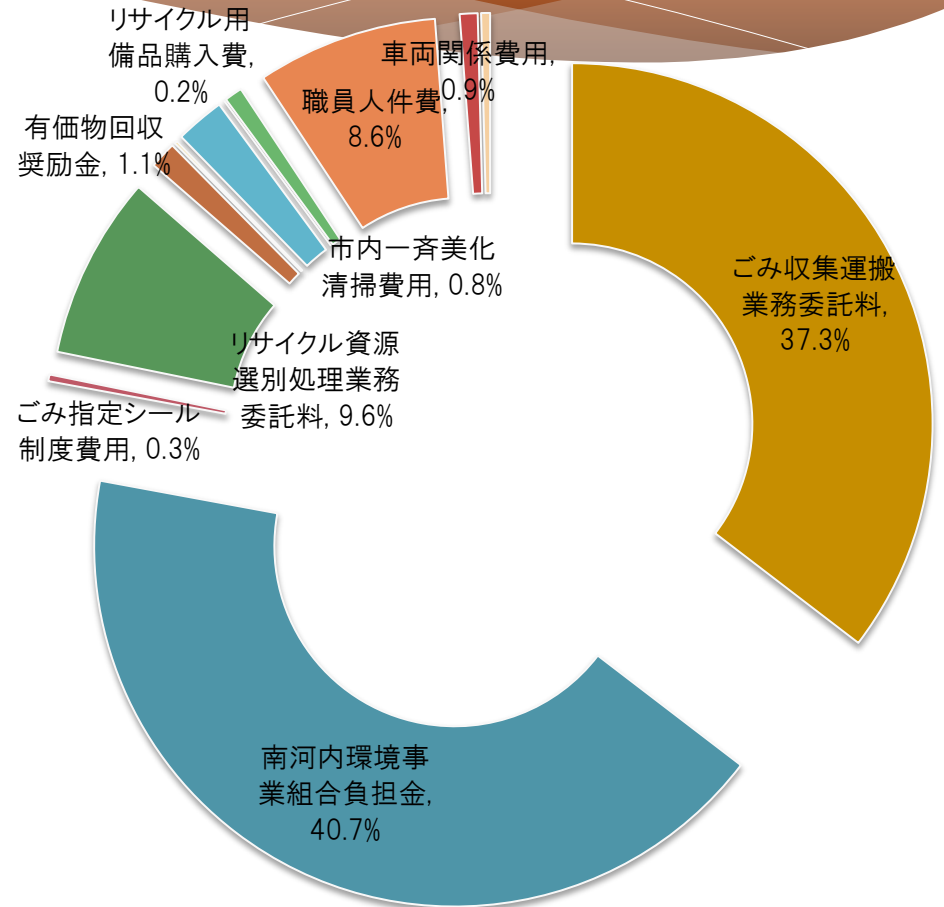


# 4-1. ごみ処理にかかる経費

項目	平成30年度	構成比	主な内容
焼却ごみ処理費用	581,049,536	78.3%	
ごみ収集運搬業務委託料	276,958,047	37.3%	生ごみ収集運搬業務委託料
南河内環境事業組合負担金	301,524,019	40.7%	組合負担金
ごみ指定シール制度費用	2,567,470	0.3%	ごみシールの封入、郵送費用
資源ごみ処理費用	81,730,509	11.0%	
リサイクル資源選別処理業務委託料	71,148,683	9.6%	カン、ビン、ペットボトル、その他プラの選別処理
有価物回収奨励金	8,143,200	1.1%	古紙等の地域集団回収奨励金
生ごみ減量化等処理器購入補助金	208,000	0.0%	生ごみ処理器等の購入補助金
家電リサイクル費用	587,898	0.1%	家電リサイクル業務委託料、ストックヤード借上料
リサイクル用備品購入費	1,432,728	0.2%	リサイクルボックスの購入
牛乳パック回収費用	210,000	0.0%	牛乳パックの整理・運搬、作業所費用
市内一斉美化清掃費用	6,124,988	0.8%	収集・分別・運搬業務委託料、地区報償費
職員人件費	63,525,950	8.6%	収集員人件費
車両関係費用	6,466,954	0.9%	塵芥車借上料、燃料費、修繕料、車検料等
事務関係費用	2,995,312	0.4%	清掃、ごみ減量関係事務費
<b>ごみ処理費用 合計</b>	<b>741,893,549</b>	<b>100.0%</b>	

単位:円

## ごみ処理経費内訳



リサイクル資源等売払収入	15,968,831	スチール、アルミ、ガラス、牛乳パック、金属類等
--------------	------------	-------------------------

## 4-2. ごみ減量による経費削減

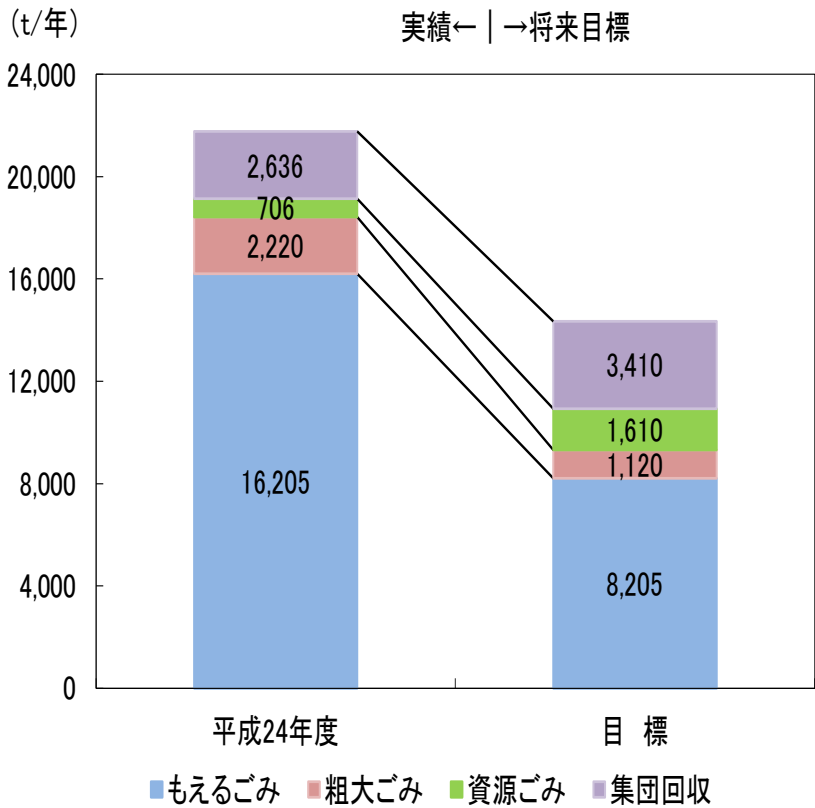
※H31.3 末人口 58,516 人

ごみ処理費用総額	741,893,549 円	(12,678 円/人)
焼却ごみ処理費用	581,049,536 円	(9,930 円/人)
南河内環境事業組合負担金	301,524,019 円	(5,153 円/人)
(内訳)		
○施設費〔人口割・均等割〕	55,704,000 円	(18.5%)
<u>◎管理費〔処理量割〕</u>	<u>231,617,000 円</u>	(76.8%)
<u>◎共通事務費〔管理費割〕</u>	<u>12,107,000 円</u>	(4.0%)
○シール負担金〔枚数割〕	2,096,019 円	(0.7%)
<u>ごみ排出量により増減</u> →	<b>ごみ減量による経費削減!</b>	

# 5.大阪狭山市一般廃棄物処理基本計画～チャレンジ40～

平成40年度 (2028年度) に

- ①ごみ排出量 39%削減
- ②リサイクル率 36%達成



方 策	役 割 及 び 内 容
環境意識の向上	<p>買う前に本当に必要なのかを考え、不要なものを買わない。また、分別の際には識別マークをきちんと確認し、適切な分別を行う。</p> <p>身近にできることを自ら選択し関わっていくことで、4Rを実践していく。</p>
資源等分別回収の促進	<p>古紙・古布類等については、自治会などの登録団体が行っている集団回収へ出すようにする。</p> <p>販売店等で引き取り可能なものは、極力引き取ってもらい、適正なルートでの処理・再生を行う。</p> <p>リターナブルビンについては、販売店等に戻すようにする。</p> <p>トレイ、牛乳パック等の店頭回収を積極的に利用する。</p> <p>市が実施するごみの分別収集に協力し、分別区分ごとの正しいごみの出し方を行う。</p>
生ごみの排出抑制	<p>計画的に食品を購入し、賞味期限内に使い切るようにするとともに、料理は作る分量を工夫するなどしてごみを極力少なくする。</p>
過剰包装の自粛	<p>水切りネットを使用するなどして、ごみ袋に入れる前にしっかり水切りをする。</p> <p>シャンプーなどは詰め替え用を利用し、簡易包装に協力する。</p> <p>マイバッグを持参し、余計なレジ袋などの過剰包装は断る。</p>
使い捨て製品の使用抑制	<p>使い捨て製品の使用を抑制する。また、できるだけ物を無駄に消費しない生活スタイルを心がける。</p>
再生品、不要品の再使用	<p>日用品は、再生品を使用するように努める。</p> <p>フリーマーケットやバザーを活用し、要らなくなったものは必要とする人に譲る。</p>